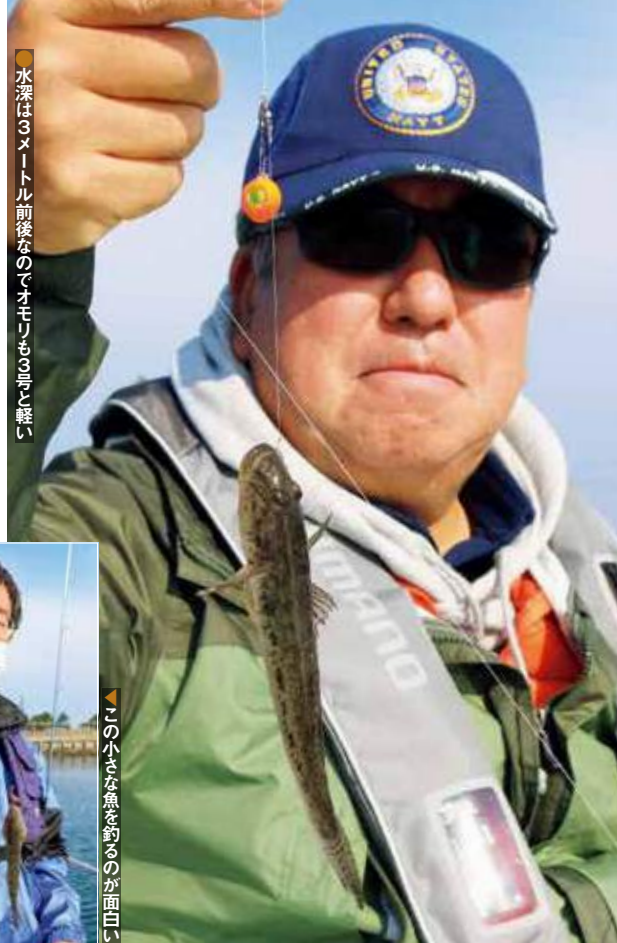




若い人にもハゼ釣りは人気



水深は3メートル前後なので、オモリも30gで軽く



慣れない人でも40〜50尾は釣れる



毎週のように通う常連さんは余裕で1束超えの釣果



この小さな魚を釣るのが面白い



ハゼは味覚の面でも極上



ハリスの長さやハリのおきさは釣れるハゼのサイズに合わせる



12〜13センチ級なら手応えもハッチリ



基本は1本バリエで船下狙い



富士見の一日ハゼ乗合は木更津沖を中心に狙う

東京湾奥深川出船

撮影◎粕川 晃

手バネで楽しむ江戸前の釣り 今年のハゼはいい感じ

JAPANESE TRADITIONAL FISHING
Yellowfin Goby fishing in Tokyo bay

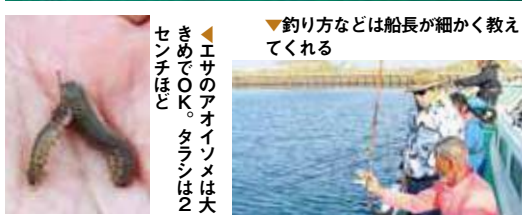


2本の手バネを操って次つぎとハゼを掛けていく独特の釣趣が楽しい

本更津沖で釣れるハゼは10〜12センチ前後が多い

手バネで楽しめる釣りはめっきり少なくなりましたが、今でも江戸前情緒たっぷりの釣りを味わえるのが東京湾のハゼ。この釣りを看板にする深川の老舗船宿、富士見では半日船、天ぶら船、練り船など様ざまなハゼ釣り船を出す。主に良型狙いで出船するのが一日船。ポイントは木更津沖の水深3メートル前後で、10〜13センチ級を手慣れた人なら余裕で1束を超える。今年は猛暑の影響が例年よりハゼの生育が遅れているようなので、もうしばらく木更津沖で楽しめそうとのこと。モタレと言われる小さなアタリを取って掛けていく、手バネならではの釣趣をこの機会にぜひ体験してほしい。
(詳細は52ページ参照)

●手バネとはリールを使わない竿。富士見では竹製の手バネを1本500円で借りられる。2本竿で釣るのがおすすめ



釣り方などは船長が細かく教えてくれる

▲エサのアオイソメは大きめでOK。タニシは2センチほど



◎東京湾奥深川・富士見 斎藤 正雄船長

江戸前の鯿